

【報告事項】(1) 令和8年度 事業計画と主要行事予定表

事業方針

2025年は、ESG政策によるサステナビリティの追求が本当に社会や経済を強くし、貧困や不平等といった社会課題を解決しているのか、立ち止まり、見直すことが求められた1年でした。1月に誕生したトランプ米政権が前政権のESG政策を否定する方針を示し、2月には欧州連合（EU）が産業競争力を重視してESG政策の簡素化を発表されました。

2026年になって、1月米国がパリ協定から脱退する一方、2月欧州連合（EU）では、温室効果ガス排出量を40年に1990年比で90%削減する目標を盛り込んだ改正欧州気候法を承認されました。このように、2026年は、ESG政策の後退に見える動きが続く一方で、経済成長とサステナビリティの両立を積極的に追求する国や地域も出ています。

一方、国内では、2025年10月高市内閣が誕生し、石原環境大臣が環境の重点課題について以下の通り表明されています。

- 循環経済への移行：国家戦略として循環経済への移行を推進し、経済安全保障、産業競争力の強化、地方創生、質の高い暮らしの実現に貢献する。
- 自然再興の実現：国立公園をはじめとする日本の自然環境の保全と利用、自然共生社会の実現に向けて取り組む。
- 公害・健康被害対策:水俣病など公害健康被害対策を着実に実施し、PFASなどの問題にも取り組む。
- 地球環境問題への国際的取組み：各種条約に関する国際交渉でリーダーシップを発揮する。
- 気候変動対策の推進：脱炭素と経済成長の同時実現を目指し、環境省が中心となって地球温暖化対策計画に基づく政府全体の取組みを推進する。また、地域における暮らしや資源循環の分野での取組みを加速させる。

さて、このような環境下、2026年当協会も、これらの変化を的確に捉え、より地域に根差した活動を展開していく必要があります。

1. 協会活動の基盤強化

2025年にコロナ禍以前の活動レベルに戻ったことで、2026年はその基盤をさらに強化し、会員へより質の高いサービスを提供できる環境を整えます。

① 人材育成

- ・多角的な視点での研修会・講演会の開催
- ・産学連携による講座やイベントの実施
- ・企業見学を通じた実践的な学習機会の提供

② 地域貢献

- ・森林整備ボランティア活動
- ・水質事故対応訓練講習会の開催（担当エリアの拡大）

③ 重点テーマ

- ・サーキュラーエコノミーへの取組み強化
- ・生物多様性保全に関する研修・広報活動

2. 会員基盤の拡大と連携強化

会員間の交流を促進し、新たな価値を生み出すプラットフォームとしての役割を強化します。

① 会員の増加

- ・積極的な新規会員勧誘活動の継続

② 情報交換の活性化

- ・各種イベントへの会員参加の促進
- ・協会内外の関係機関との連携強化

事業計画 委員会別

※文書内（ ）：事業仕分 （公）＝公益目的事業 （収）＝収益事業他 （法）＝法人管理別

《 総務広報委員会 》

1. (公)・広報誌「碧い湖」 年間2回発行 5月第82号 11月第83号
時宜を得た特集テーマをメインに掲載、新規会員企業の紹介他
会員企業の広告掲載(1回 税込10,000円)
特集 ①サーキュラーエコノミー、プラスチック資源循環に関する政策動向について
環境省 容器包装・プラスチック資源循環室 室長 金子浩明氏
②滋賀県環境影響評価条例の一部改正について
滋賀県琵琶湖環境部環境政策課
広報誌「碧い湖」へ掲載 5月第82号予定
2. (公)・講演会 (臨時社員総会と同時開催予定)
「生物多様性について」
(講師) 滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課
3. (公)・新春賀詞交歓会 新春特別講演会 賀詞交歓会
開催日：令和9年1月21日(木)
場 所：琵琶湖林庁
4. (公)・滋賀県からの法令関連や表彰関連、大学からの講演会等の情報を随時メール配信
5. (公)・令和8年度環境美化運動(滋賀県他県内市町)へ協力団体として参画

《 企画委員会 》

1. (収)・表彰事業(滋賀県環境保全協会長表彰) 令和8年5月27日(水)
令和8年度定時社員総会終了後 場所 びわ湖大津プラザ林庁
個人・団体・企業別表彰後にプレゼンテーションを実施
2. (公)・森林整備ボランティア活動 (①②③共に雨天の場合は座学のみ)
① 開催日：令和8年10月17日(土)
場 所：朽木 森林公園くつきの森
② 開催日：令和8年10月24日(土)
場 所：多賀 高取山ふれあい公園
③ 開催日：令和8年11月7日(土)
場 所：栗東 こんぜの里
3. (公)・産学連携事業
① 立命館大学・龍谷大学・滋賀県立大学との連携事業継続
立命館大学 ・琵琶湖・環境イノベーション研究センター・シムズ・リム(後援)
② 滋賀県立大学 ・8月～9月インターシップ生1名程度受入予定
③ 龍谷大学 ・REC BIZ-NET 研究会との連携及び協力
公害防止管理者(水質・大気関係)資格試験「事前受験対策講座」(後援)
開催日 : 令和8年6月後半から7月に予定
開催方法：ハイブリッド(対面+オンライン)開催を予定

4. (公)・「法・条例を学ぶ講習会」

(後援：滋賀県・協力：大津市・共催：(公財)滋賀県環境事業公社)

「当協会の事業のメイン講座としての位置づけから上期実施の継続事業」

開催予定日：7回シリーズ 9月4日・7日・9日・11日・14日・16日・18日

場 所：コリスが21 (ハイブリッド研修)

5. (公)・水質事故対応訓練講習会

湖北環境事務所との共催 (初開催)

開催予定日：令和8年10月16日(金)

場 所：長浜ヤノリ(株)アリーナ

6. (公)・滋賀県資源循環モデル構築の検討

滋賀県は製造業の比率が高く、特に自動車関連のサプライチェーン(部品メーカーから組み立て工場まで)の集積が高いことより、資源循環モデルの構築に適した地域でもある。産学官連携も強化して、「動脈のニーズ」と「静脈の供給」を「大学と行政のプラットフォーム」に繋ぐネットワーク作りを検討していく。

《 組織活性化委員会 》

1. (法)・新規会員の獲得

積極的な勧誘活動により会員数を増加、会員基盤の拡大を図る。

2. (法)・関西環境管理者交流会((公社)京都工業会・神戸地区環境保全連絡協議会・当協会)

幹 事：滋賀県環境保全協会

開催日：令和8年10月(予定)

場 所：「滋賀県琵琶湖環境科学研究センター」および「びわこ大津館」

3. (公)・「地域別環境保全研修会」(共催：滋賀県6環境事務所および大津市の合計7地域)

《目的》…「滋賀県環境事務所6カ所と大津市環境部環境政策課と連携」

・事業場立入調査の結果報告並びに法改正の情報提供

・環境への取組等の事例発表

→地元企業の共通課題を解決するための研修会としての位置づけ

開催時期：令和9年2月～3月